

新たな「テカリ防止」へのアプローチ

テカリ因子を瞬時に捕えて化粧崩れを防ぐ化粧下地の開発

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林一俊)は、テカリ防止への新たなアプローチとして、テカりに影響する皮脂中の成分を選択的に吸収・固化する粉体へ導くことで、より効果的にテカらず、サラサラな膜を持続させる技術を開発しました。この技術を応用した化粧下地を使用することで、テカりを抑え、化粧崩れを防ぐことが可能です。この成果を、今春発売の新商品から展開していきます。

「テカリ」と「化粧崩れ」の関係

皮脂による化粧崩れは、時間の経過とともに肌から分泌される皮脂によって化粧膜の色がくすみ、テカりが発生し、最終的にヨレや剥がれが生じるというプロセスで起こります。多くの方はその中でもテカリを見て化粧崩れしたことを認識するため(図1)、この「テカらない」状態を持続したいという想いを共通して持っています。



図1 テカりが目立っている状態

研究の着眼点

従来の技術では吸油量の高い多孔質粉体を配合し、皮脂を吸収させることでテカりを防止していましたが、この方法では粉体の吸油量に限界があることや、一度吸収された皮脂が再び放出されることがあるため、特に皮脂分泌量の多い小鼻周りのテカりを抑えるには不十分でした。そこで、皮脂成分の中でもテカりの要因となりやすい遊離脂肪酸(以下テカリ因子)を、選択的かつ効率的に吸収・固化することで、テカリ因子を化粧膜表面に逃がさないアプローチを考え、素材開発・処方設計を行いました。

「テカリ因子」を瞬時に捕えて逃さない化粧膜の開発

今回開発した新たなテカリ防止のアプローチ^{※1}においては、肌上に塗布してできる下地の化粧膜が、下記の3ステップの過程を経て、高いテカリ防止機能を実現しています。(図2)

※1 特許出願済み

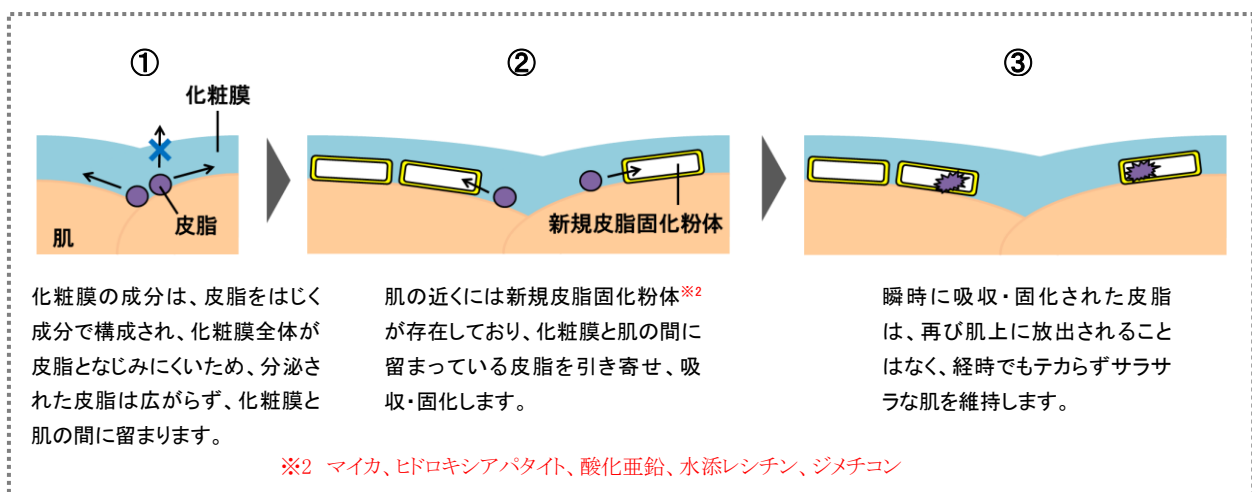


図2 テカリ防止アプローチのメカニズム

新規皮脂固化粉体の効果

今回用いた新規皮脂固化粉体による皮脂の吸収・固化能を検証するため、従来の皮脂吸収粉体に同量のテカリ因子を混ぜ合わせ、あぶらとり紙を押し当てて比較しました。

その結果、新規皮脂固化粉体は、従来の皮脂吸収粉体に比べより多くのテカリ因子を吸収・固化し、取り込んだ皮脂を外に出さないことがわかりました。(図 3-1)

また、新規皮脂固化粉体は独自の成分で表面コート^{※3} されているため、テカリ因子は吸収し、水ははじく性質を持っており、このことから、汗や水分でも流れ落ちず膜を長時間キープすることが期待できます。(図 3-2)

※3 水添レシチン、ジメチコン

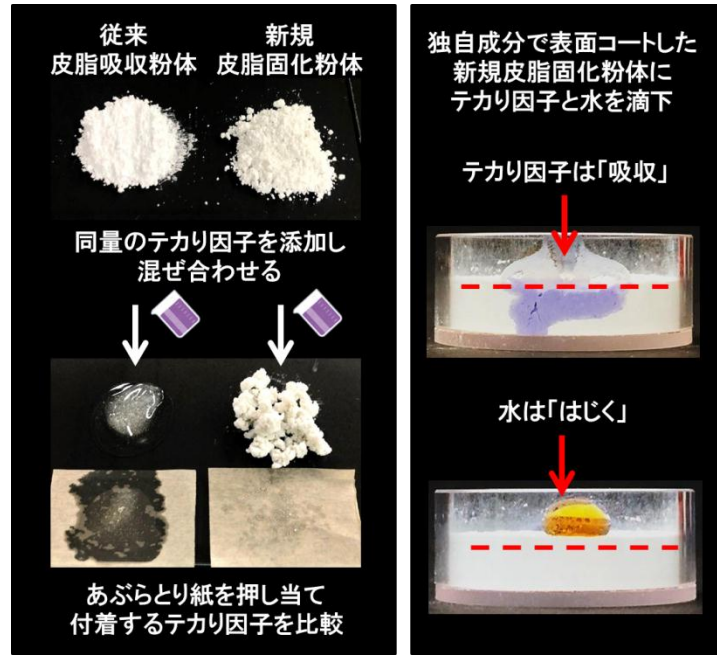


図 3-1

図 3-2

図 3 新規皮脂固化粉体の効果検証

新規化粧下地の効果

今回開発した化粧下地の効果を検証するため、小鼻モデルを用いた新たな評価方法を開発し^{※4}、従来品との比較を行いました。熱を加えるとテカリ因子が表面に出てくる小鼻モデルを用い、開発品と従来品の下地を半顔ずつ塗布し、上から温風を当ててテカリ具合を評価しました。

その結果、開発品は従来品と比べ、非常に優れたテカリ防止効果を発揮することがわかりました。(図 4)

※4 特許出願済み



図 4 小鼻モデルを用いた化粧下地の効果検証

[新規化粧下地の効果を検証した動画はこちら](#)

ご覧になれない方は、こちらのアドレスをコピーしてご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=AMnsnAM-IJc&feature=youtu.be>

今後の展望

コーサーでは今後も素材・処方・評価技術の開発を通し、お客さまの生活シーンに合わせた様々な悩みの解決に直結する高機能製剤と、その効果をわかりやすくお客さまに伝える手法の開発を進めてまいります。